

第20回トワイライトセミナー  
プラントの保安力向上のための人材育成および  
データベースを含むツール開発の現状

講師：株式会社 ベストマテリア  
木原 重光 氏

開催日：2010年9月15日(水) 18:30~20:00

会場：産業技術総合研究所 秋葉原事業所

日本において様々な分野で規制緩和が行われている。化学プラントに限らず、様々なプラントの保全も自主保全化が進んでいる。設備の高経年化が進む中で、安全・安心と保全コストの低減を両立させるために、欧米で行われているリスクベースメンテナンス (RBM) の導入および維持基準への対応が必要となっている。これらには、余寿命およびリスクの評価が不可欠であり、評価のためのツールと評価する人材の確保が重要となる。講演では、評価ツールとして (社) 日本高圧力技術協会基準 (HPIS) の RBM ガイドおよびハンドブックを中心に、RBM の基礎から応用までの説明があった。また、有望な評価人材を確保するための、同協会のリスクマネージャー認定制度、「設備等のリスクマネジネント技術者評価試験」、「圧力設備診断技術者」についても紹介および説明があった。さらに、評価に必要な各種データベースの国内外の開発状況についても述べられた。



講演会会場の様子



講師の木原氏

現在 RBM は様々な分野で行われ、安全だけでなく、効率的なプラントの運転・保全をする上で必要不可欠な解析・評価技術と認識できる講演会であった。さらに、質問も多岐にわたり時間を超過するほど活発にディスカッションも行われ、盛況のうちに終わった。(参加者 16 名)